

会社案内

Company Profile



■ ごあいさつ

創業まもない昭和30年当時は、縫製機械の普及にともない、高品質なマシン部品の製造を手がけておりましたが、省力化が進むにつれ次第にコンベヤの需要が高まったことを契機に、経営難に陥ったコンベヤ製造メーカーを吸収し、コンベヤメーカーとして第二の事業を起業しました。

当社は現在、創業以来培った工業用マシン部品の精密加工技術のノウハウを生かした精密切削加工部品の製造・販売並びに、標準ローラコンベヤ・コンベヤシステム・専用装置及び周辺機器の提案から、設計、製作、施工まで全国規模で展開しております。

また、益々の高度化、多様化するニーズに、确实、迅速をモットーに対応できる企業を目指して、研究開発に力を注ぎ、最適なソリューションを提案し、お客様と共に目標達成に向かって今後も取組んでまいります。

設立以来の一貫した信頼性重視、全スタッフのやる気を根底に、これからもフレキシブルな企業を目指し、多くのお客様のご要望に応える努力をいたす所存でございますので、何とぞ当社に尚いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 高橋 一博

■ 経営理念・品質方針

経営理念

1. お客様の目線に立って、「お客様に親切に」を念頭に、より高い顧客満足を追求し、お客様や社会から信頼され必要とされる存在価値のある良い企業となる。
2. 顧客満足向上の事業活動を通じて、社員満足を追求し、全社員が人間として成長・向上すると共により豊かで充実した価値ある人生を送り、社会の発展と繁栄に寄与する。
3. モノづくりにおいて、常に新しい技術(自社にとって)にトライし、高い品質でオリジナリティのある製品・技術・サービスをお客様に提供します。

品質方針

1. 「高い品質」と「納期の遵守」に全社一丸となって取組むことにより顧客満足を高め、絶大なる信頼を得て企業の存在価値を生み出していく。
2. モノづくりにおいて、特に「品質」は企業の生命線であり、また根幹を成すものであり、品質マネジメントシステムの実行と継続的改善により、品質保証体制を確立してお客様からの信頼を得る。
3. 原価低減(KAIZEN 提案)にも最大限の努力を注いで、お客様にメリットのあるより良い提案(VA 提案)を行い、社会の発展・繁栄に寄与する。



株式会社高橋工作所(コンベヤ事業部・精機事業部の全部門)は、当社品質方針・品質基準を基に、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001:2000の認証を取得しております。



■ 会社概要

会社名	株式会社 高橋工作所		
役員	取締役会長	高橋 薫	
	代表取締役社長	高橋 一博	
本社・工場	〒578-0921 大阪府東大阪市水走 2 丁目 4 番 3 号		
	TEL	072-961-3686	
	Fax	072-963-4375	
創業	1947 年 1 月		
資本金	1,000 万円		
敷地・建物	敷地面積	3,828 m ²	建物面積 2,732 m ²
建設業の許可	機械器具設置工事業 大阪府知事(般-18)第 126993 号		
従業員	30 名		
事業内容	<p>■コンベヤ事業部</p> <p>標準ローラコンベヤを中心に、オーダーメイドコンベヤ及び物流システムの開発・設計・製造・販売・保守</p> <p>■精機事業部</p> <p>精密切削加工部品及び工業用マシン部品の製造・販売</p>		
納入先及び取引先	<p>■コンベヤ事業部</p> <p>松下電器産業、シャープ、島津製作所、三菱重工(各自動車メーカー)、石川島播磨重工業、サントリー、明治乳業、日本たばこ産業、日立プラントテクノロジー、日亜化学工業、住友化学工業、他</p> <p>■精機事業部</p> <p>創業以来 60 年にわたり、国内外マシンメーカーへ納入実績あり。JUKI、JUKI 松江、三菱電機、日進製作所、他</p>		

■ 機械設備

■コンベヤ事業部

■精機事業部

ローラ全自動加工装置	自社製	1台	マシニングセンター	日平トヤマ他	5台
パイプワーキングマシン	自社製	2台	NC旋盤	江黒鉄工所	6台
ベアリング圧入機	自社製	1台	CNC内面研削盤	東洋工業	1台
シャフト自動加工機	自社製	1台	NCホーニング盤	日進製作所	3台
パイプ自動切断機	コスモ工機	2台	自動旋盤	宮野鉄工所他	7台
シャフト自動切断機	モリ工業	1台	卓上旋盤	江黒鉄工所	3台
焼付け塗装用自動乾燥炉	日本プラント	1台	汎用旋盤	大隈鉄工所	1台
塗装ブース	サンエス工業	1台	ターレット型フライス盤	関東工機	1台
パワープレス	アイダ他	3台	生産フライス盤	ブラザー工業	4台
汎用旋盤	大隈鉄工所	4台	汎用フライス盤	高尾機械他	3台
フライス盤	MATSUURA 他	2台	卓上ボール盤	吉田鉄工所	24台
ミーリング盤	MARUSHIN	1台	心無研削盤	日本研磨機他	2台
ボール盤	KIRA 他	4台	平面研削盤	ワシノエンジ他	2台
半自動溶接機	松下電器	6台	両頭研削盤	自社製	6台
アルゴンアーク溶接機	マック	1台	タップ盤	ブラザー工業	2台
プラズマ切断機	松下電器	1台	マイクロビッカース硬度計	松沢精機	1台
ドライカッター	谷テック	2台	表面粗度測定器	ミットヨ	1台
高速切断機	昭和機械工業	3台	エアーマイクロメーター	大阪精機	1台
自動梱包機	ニチロ工業	1台	投影機	ミットヨ	1台
			ブロックゲージ	津上製作所	3台



■ 創業60年のあゆみ

1947年・現取締役会長・高橋薫が東大阪市においてマシン部品の製造を始める。

1955年・(有)高橋工作所を設立。大阪市東成区に工場を建設し、本格的にマシン部品の量産体制に入る。

1963年～1968年・大阪市より5年間合理化工場として受賞。

- ・労働大臣より炭鉱離職者の集団採用による優秀会社賞を受賞。
- ・現在地に新工場、社宅、独身寮を建設。

1964年・中小企業庁長官・国務大臣より合理化工場優良賞を受賞。

- ・株式会社に組織変更をする。

1966年～1971年・通産大臣より輸出貢献企業として認定書を授与。

1967年・輸送機メーカーを吸収し、採石場をはじめ生産工場、食品工場、倉庫等向けに各種物流搬送機の設計・製造する。

1982年・コンベヤローラ及びフレーム製造に高性能機械を導入し、生産の合理化を図る。

1985年・数値制御機械（マシニングセンター、NC旋盤他）及びローラ全自動加工装置を導入し、品質の向上と生産の合理化を図る。

1990年・販売、業務にコンピューターを導入し、事務の合理化をはかる。

1995年・代表取締役社長に高橋一博が就任。

2000年・ホームページ（インターネット）を開設する。

2005年・既存コンピュータシステムを刷新し、販売管理・生産管理・業務管理を統合した社内LANシステムを導入する。

2006年・当社の経営目標でもある品質保証、顧客満足の向上を目標とする長期経営計画に取り組む。

- ・新事業活動促進法に基づく、経営革新計画企業（大阪府指令経支第777-201号）の承認を大阪府知事より受ける。

2007年・品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001:2000(QAIC/JP/0107)の認証を取得する。



■ 精機事業部 精密切削加工部品・工業用マシン部品



■ コンベヤ事業部 納入事例



創業60年の信頼にお応えします。



株式会社 高橋工作所

本社・工場 〒578-0921
大阪府東大阪市水走2丁目4番3号
TEL 072-961-3686
FAX 072-963-4375
Mail info@takahashi-inc.com

<http://www.takahashi-inc.com>